

平成30年度武蔵野市子ども生活実態調査報告書

概要版

1. 調査実施の目的

市立の小・中学校に在学する児童・生徒の生活行動と意識の現状及び同保護者の学校教育に関する考えや子どもの養育環境を把握することで、「第三期学校教育計画（仮称）」及び「第五次子どもプラン武蔵野」（共に平成32（2020）年度から5か年）の策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象

市立小学校4年生、6年生及び中学校2年生とその保護者

*対象学年が兄弟姉妹にいる場合、保護者は長子について回答する。

3. 調査方法と回収状況

【調査方法】

| | |
|------------|---|
| 調査期間 | 平成30年6月18日～平成30年7月6日 |
| 調査形式 | 質問紙によるアンケート調査 |
| 配布 回収方法 | ○児童・生徒については、学校で回答を記入し、回収。 ○保護者については、児童・生徒が持ち帰った質問紙に在宅で回答を記入し、回収用封筒に入れ、学校を經由して回収。 |

【回収状況】

○児童・生徒

| 調査の種類 | | 配布数（件） | 有効回収数（件） | 有効回収率（％） |
|-----------|-----|--------|----------|----------|
| 小学校 | 4年生 | 948 | 914 | 96.4 |
| | 6年生 | 901 | 861 | 95.6 |
| 中学校 | 2年生 | 622 | 603 | 96.9 |
| 小学校・中学校 計 | | 2,471 | 2,378 | 96.3 |

○保護者

| 調査の種類 | 配布数（件） | 有効回収数（件） | 有効回収（％） |
|-------|--------|----------|---------|
| 保護者 計 | 2,318 | 2,078 | 89.6 |

4 主な質問と回答

【児童・生徒】

(1) 学校で楽しいと思うこと(自由記述を分類したものの上位3つ)

■小学校4年生

■小学校6年生

■中学校2年生

| | 内容 | ％ | 内容 | ％ | 内容 | ％ |
|---|-------------------------|------|-------------------------|------|------------------------------|------|
| 1 | 調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから | 35.5 | 仲の良い友達がたくさんいるから | 33.8 | 仲の良い友達がたくさんいるから | 45.0 |
| 2 | 仲の良い友達がたくさんいるから | 29.4 | 放課後自由に遊べるから（休み時間なども含む） | 29.7 | 放課後自由に遊べるから（休み時間なども含む） | 20.2 |
| 3 | 放課後自由に遊べるから（休み時間なども含む） | 24.2 | 調べたり、実際にやってみたりする授業が多いから | 22.2 | クラスやクラブ活動・委員会でのいろいろな活動ができるから | 17.5 |

(2) 学校でいやだなと思うこと（自由記述を分類したものの上位3つ）

■ 小学校4年生

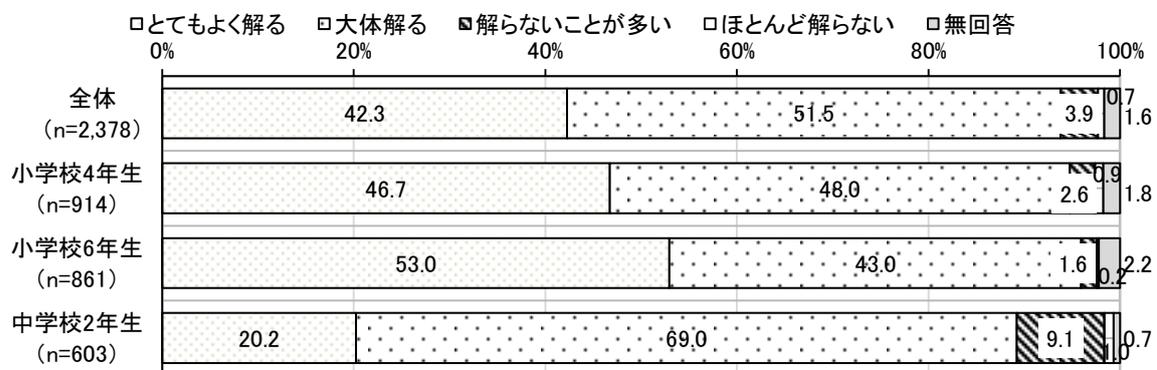
■ 小学校6年生

■ 中学校2年生

| | 内容 | % | 内容 | % | 内容 | % |
|---|----------------|------|----------------|------|----------------|------|
| 1 | 特にない | 47.4 | 勉強がわからないから | 33.2 | 勉強がわからないから | 39.2 |
| 2 | 勉強がわからないから | 21.0 | テスト | 22.4 | テスト | 15.6 |
| 3 | いじわるされることがあるから | 20.5 | いじわるされることがあるから | 18.7 | いじわるされることがあるから | 12.0 |

(3) 学校の授業がわかりますか

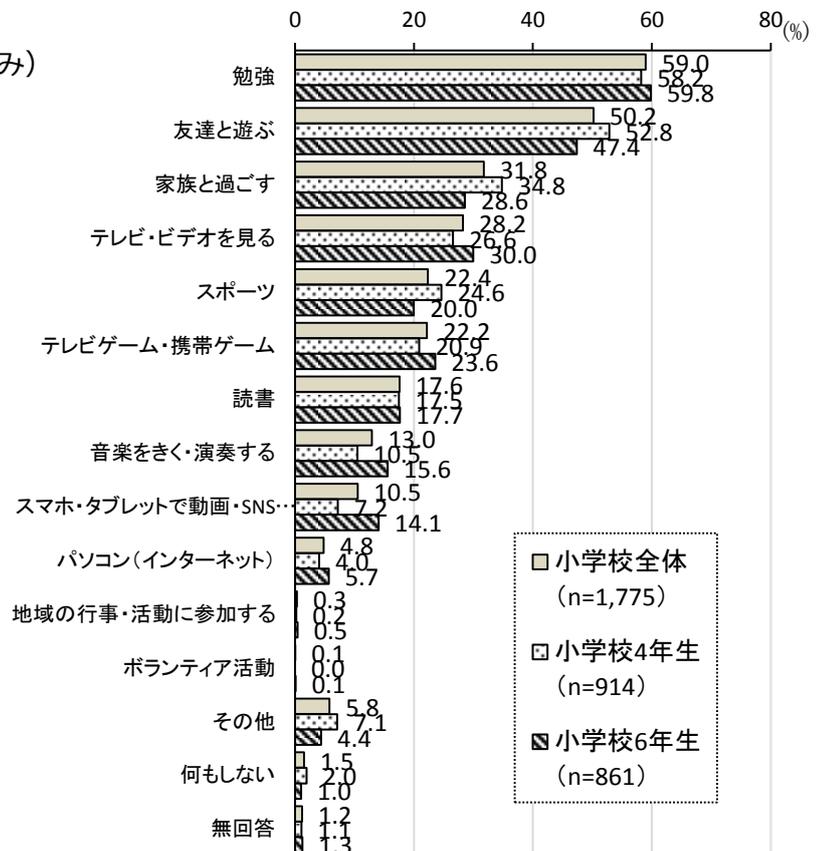
学校の授業の理解度は、全体では、93.8%が「とてもよく解る」「大体解る」と回答している。中学校2年生では、「とてもよく解る」が、小学生に比べ割合が大幅に減り、20.2%となっている。



(4) 放課後は何をしてすごしますか（小学生のみ）

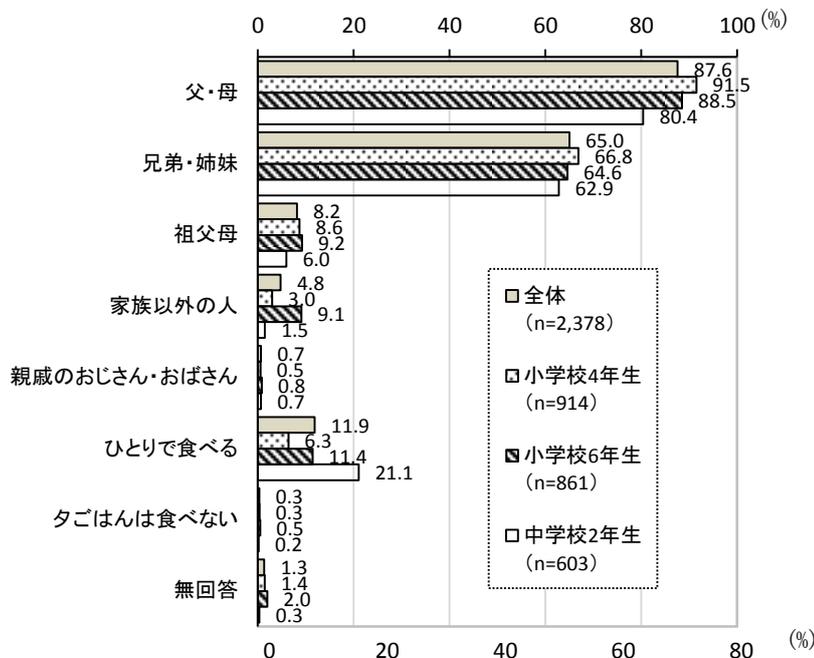
（○は3つまで）

放課後の過ごし方は、全体では「勉強」が59.0%で最も高く、次いで「友達と遊ぶ」が50.2%となっている。小学校6年生では、「テレビ・ビデオを見る」が30.0%、「テレビゲーム・携帯ゲーム」が23.6%などが、小学校4年生と比べ割合が高くなっている。



(5) 夕食を誰と食べていますか

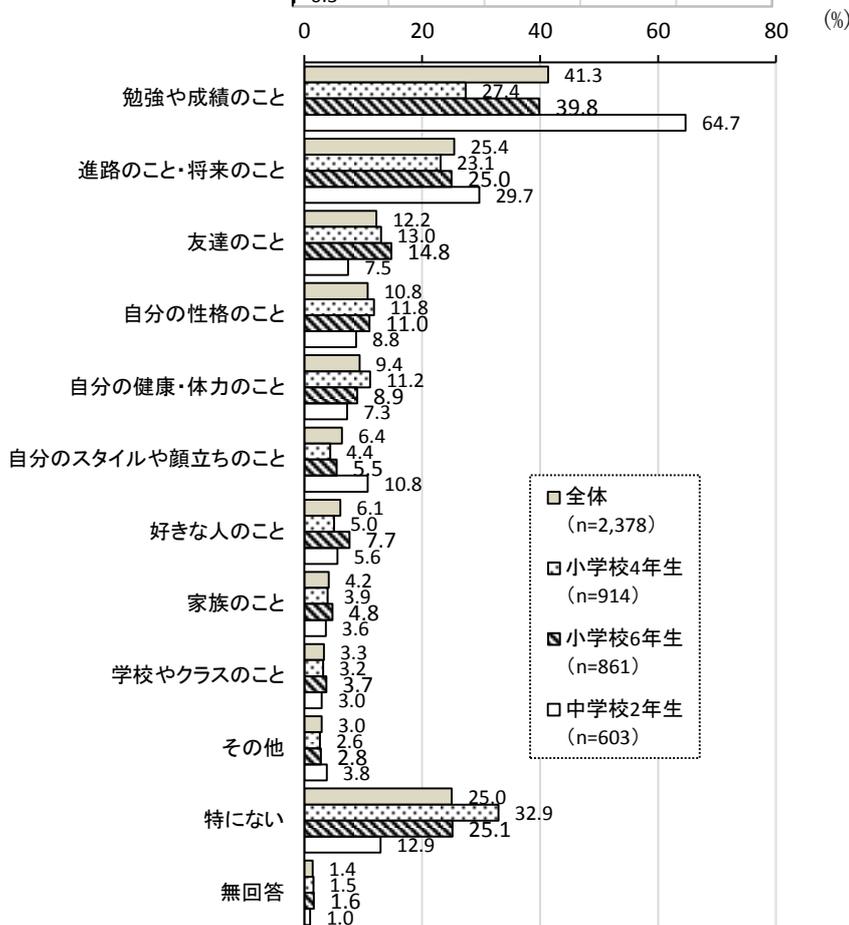
全体では、「父・母」が87.6%で最も割合が高く、次いで「兄弟・姉妹」が65.0%となっている。一方、「ひとりで食べる」においては、小学校4年生が6.3%、小学校6年生が11.4%、中学校2年生が21.1%と学年が上がるにつれ、割合が高くなっている。また、「家庭以外の人」においては、小学校6年生が9.1%の割合となっている。



(6) 悩んでいることはどんなことですか

(○は2つまで)

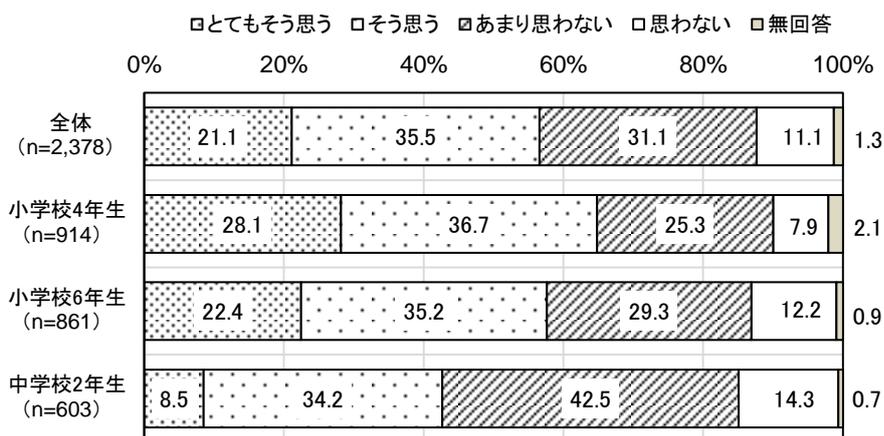
全体では、「勉強や成績のこと」が41.3%で最も割合が高く、小学4年生では、「特にない」が32.9%、小学校6年生では、「勉強や成績のこと」が39.8%、中学校2年生では、「勉強や成績のこと」が64.7%で最も高い割合となっている。



(7) 自分にはできることが

たくさんあると思いますか

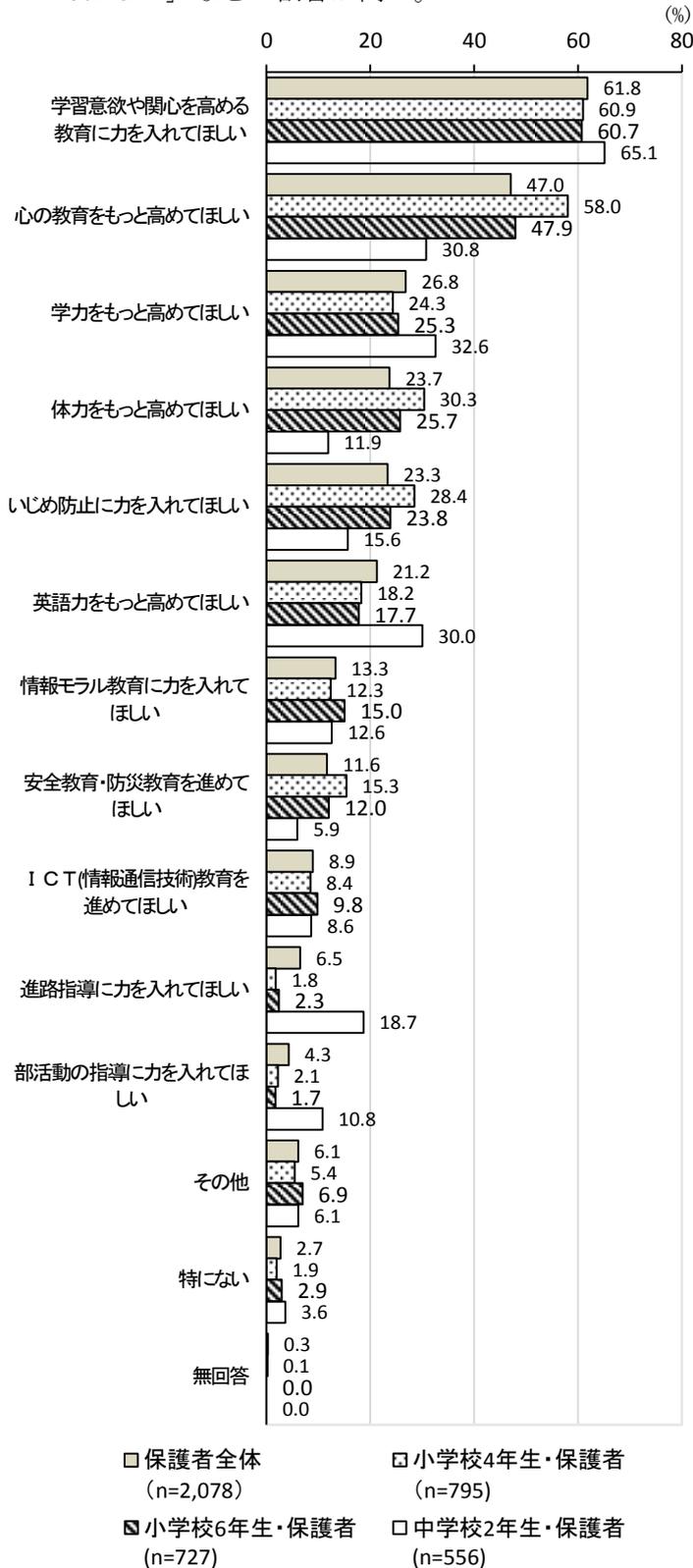
全体では、「とてもそう思う」「そう思う」が56.6%となっている。学年が上がるにつれて、その割合が低くなる傾向が見られ、中学校2年生については、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせて、42.7%となっている。



【保護者】

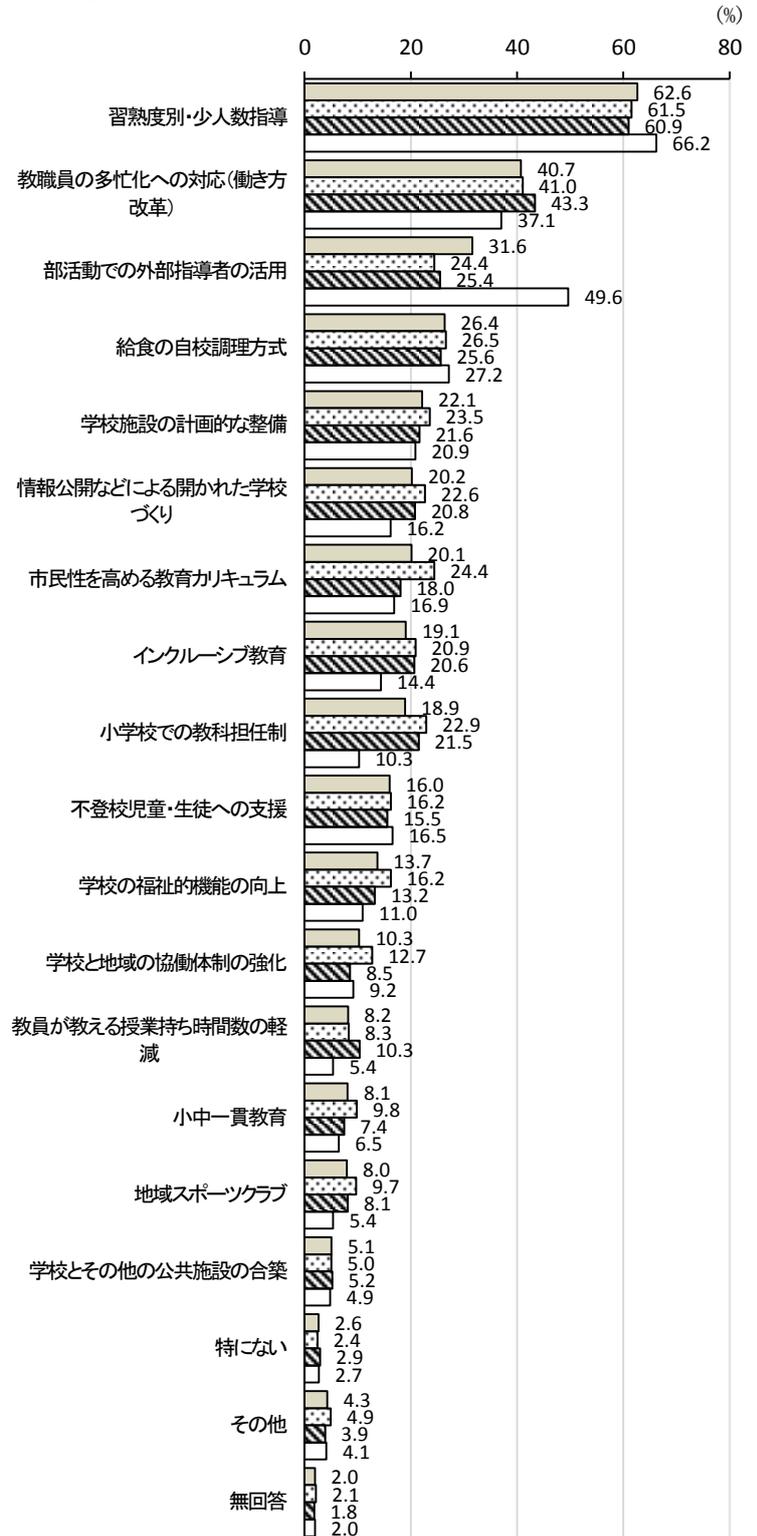
(1)学校の教育活動に特に望んでいること
(○は3つまで)

保護者全体では、「学習意欲や関心を高める教育に力を入れてほしい」が61.8%、次いで「心の教育をもっと高めてほしい」が47.0%である。中学校2年生の保護者では、他学年と比較し「学力を高めてほしい」「英語力を高めてほしい」「進路指導に力を入れてほしい」などの割合が高い。



(2)学校の改善・充実にに向けた施策や取組への関心
(○はいくつでも)

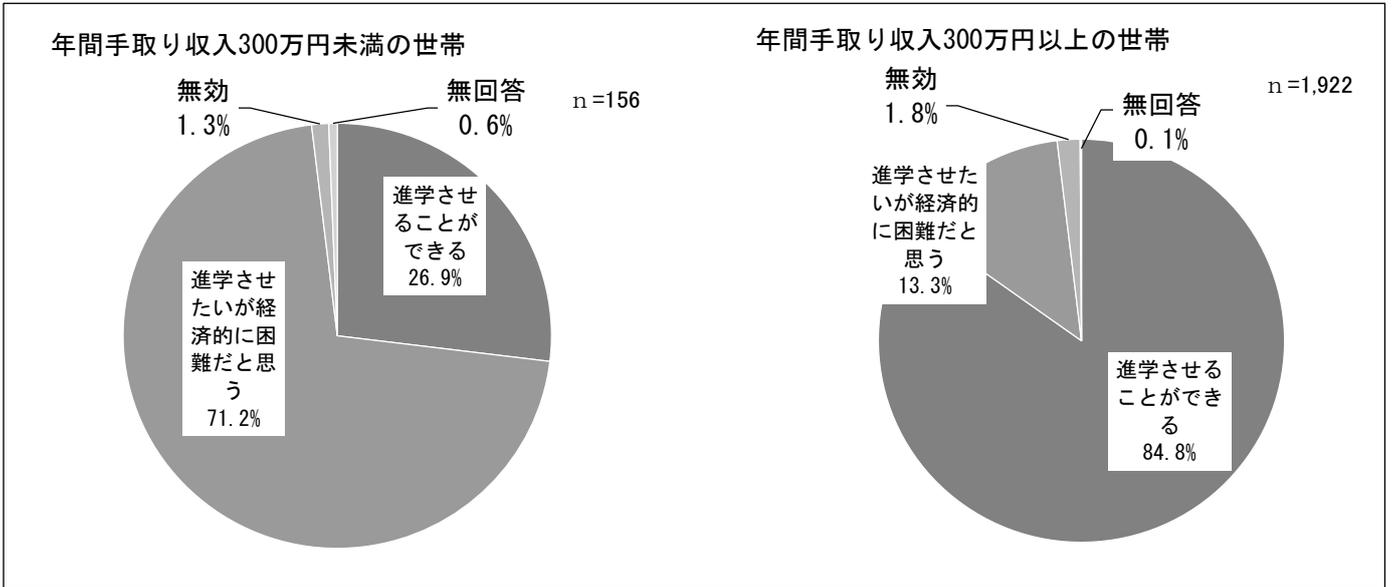
保護者全体では、「習熟度別・少人数指導」の割合が60%以上となっている。次いで、「教職員の多忙化への対応」「部活動での外部指導員の活用」への関心が高い。特に中学校2年生の保護者では、「部活動での外部指導者の活用」の割合が49.6%と高くなっている。



【世帯収入による比較】

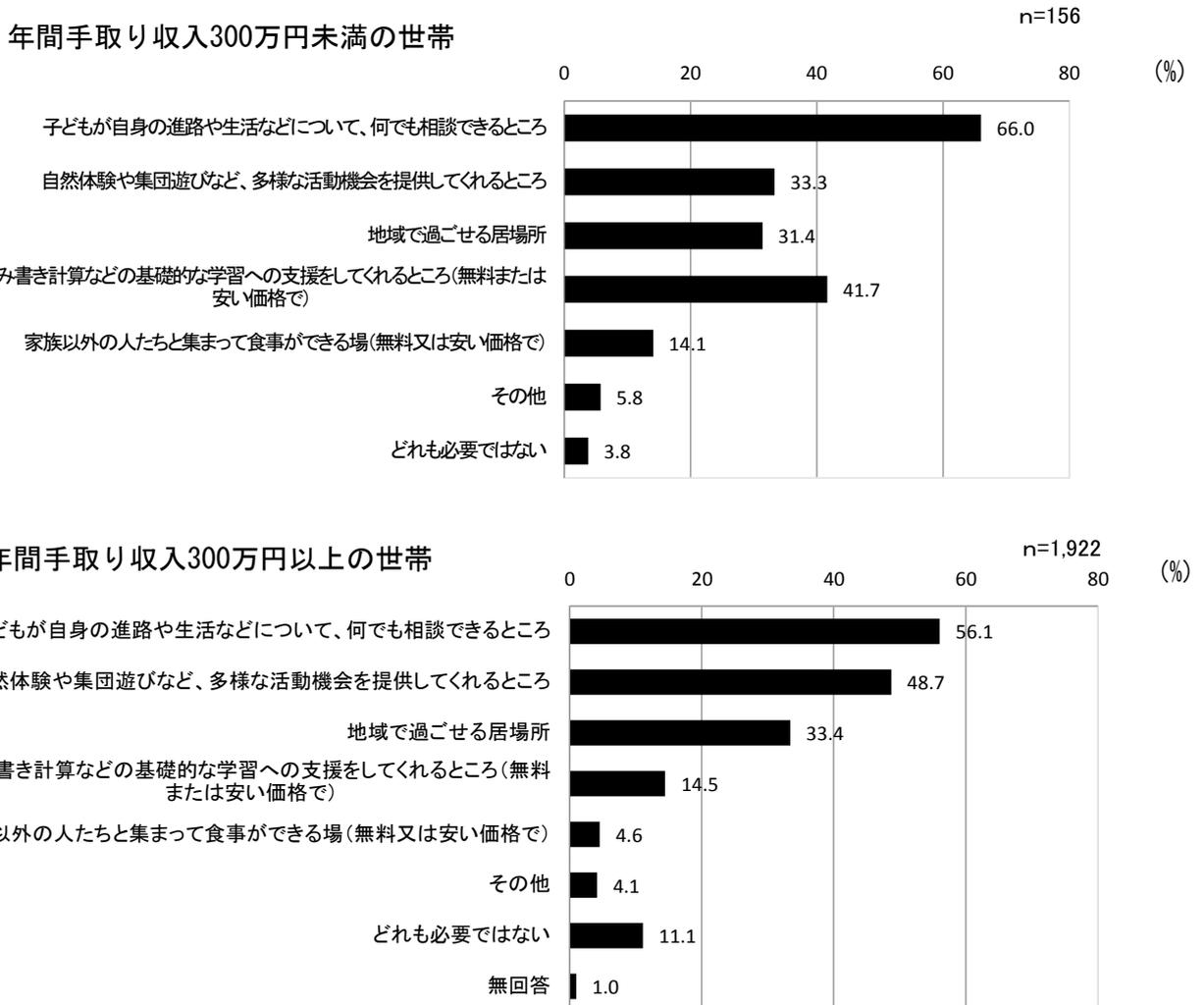
(1)子どもの進学について

手取り収入300万円未満の世帯では、手取り収入300万円以上の世帯に比べ、大学や大学院へ「進学させることができる」の割合が57.9ポイント低くなっている。「進学させたいが経済的に困難だと思う」が57.9ポイント高くなっている。



(2)子どもにとって必要又は重要と思う支援について (〇は3つまで)

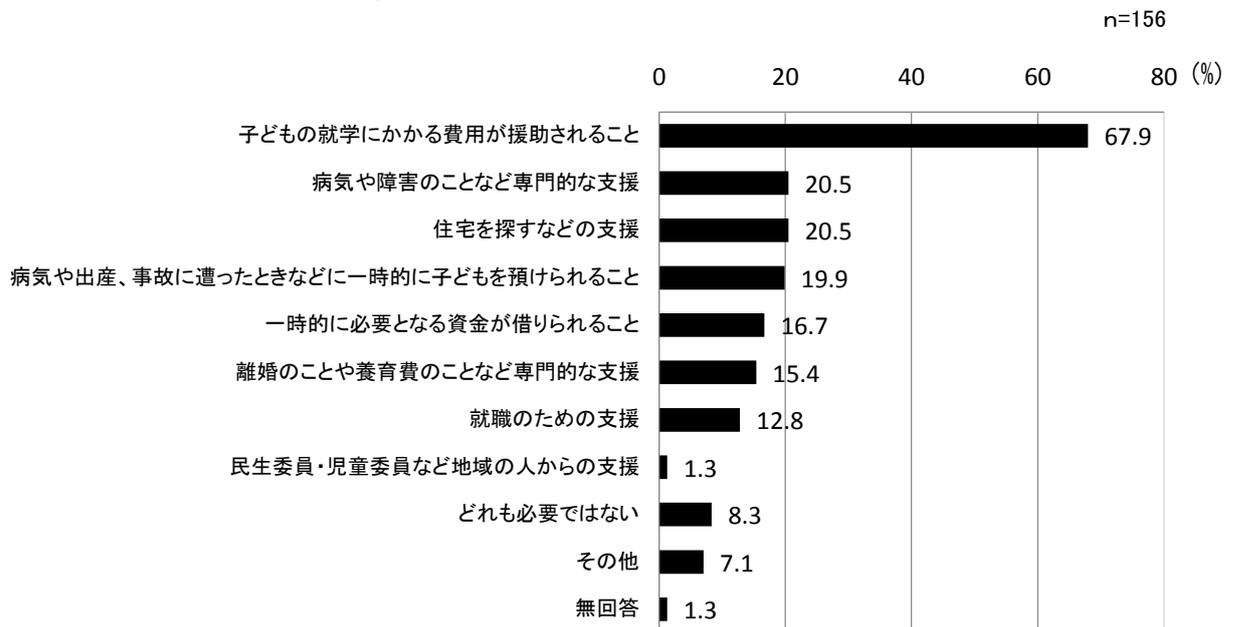
手取り収入300万円未満の世帯では、手取り収入300万円以上の世帯に比べ、「読み書き計算などの基礎的な学習への支援をしてくれるところ (無料または安い価格で)」が27.2ポイント高くなっている。



(3)保護者にとって必要又は重要と思う支援について（〇は3つまで）

手取り収入300万円未満の世帯では、手取り収入300万円以上の世帯に比べ、「子どもの就学に係る費用が援助されること」が41.5ポイント、次いで「住宅を探すなどの支援」が17.9ポイントと高くなっている。

年間手取り収入300万円未満の世帯



年間手取り収入300万円以上の世帯



発行 平成31年 2月
 武蔵野市教育委員会 教育部教育企画課
 武蔵野市緑町2-2-28 0422-60-1894